

【オリエンタルコンサルタンツグローバル軌道交通事業部プロジェクト部長兼インド現地法人取締役社長 阿部玲子さん
「魅力」と「安全」次世代に伝える 『マダム、これが俺たちのメトロだ！インドで地下鉄整備に挑む女性土木技術者の奮闘記』】

読書



「魅力」と「安全」次世代に伝える



オリエンタルコンサルタンツ
グローバル軌道交通事業部
プロジェクト部長
兼インド現地法人取締役社長
あべ れい子

阿部 玲子さん

「いままでエンジニアとして
発展途上国で仕事をしてきて、
自分がつくっているものを、そ
の国の方々が誇ってくれること
が一番うれしい」。こうした思
いが本書のタイトルに込められ
ている。タイトルは、インドの
街で偶然聞いた一言だった。
「この言葉が、いまのわたしを
支えている」と話す。

著者の阿部玲子さんは、オリ
エンタルコンサルタンツグロー
バル軌道交通事業部プロジェク
ト部長として、またインド現地
法人の取締役社長も務める。日
本のODA（政府開発援助）で
整備されたインド初の地下鉄
「デリーメトロ」の建設現場で、

同国初の女性土木技術者として
現場を指揮してきた。

当初、国際協力機構（JICA）
から執筆のオファーを受け
た際には、インドのメトロ事業
を書籍にするのなら自分よりも
適した人がいると思い断った。
プロジェクトの軌跡だけでなく、
「人」に焦点を当てたものに
したいとJICA担当者に説
得され執筆を決意した。

「この仕事に携わらせていた
だくまでには紆余曲折があっ
た」とこれまでの自身の道程を
振り返る。総合職で女性技術者
の採用枠がほとんどない時代。
父親の反対を押し切って入った
前職のゼネコン時代から、エン
지니어としての海外赴任など、
すべてが「挑戦」であった。そ
うした、女性土木技術者になる
までの軌跡も書き込んだ。そこ
には、建設コンサルタントの魅

力や未来を担う若者へのメッセ
ージも込められている。

本書の読みどころの1つは、
「安全管理」への対応だ。安全
管理に関して世界一を誇る日本
でさえ、さまざまな事故が起き
る。『安全』は永遠のテーマ。

世界最古の職業と言われている
土木技術者。ゼネコンでの経
験も踏まえて、「われわれは、
先人が積み上げてきた知恵や経
験、技術をもとに仕事ができ
ている。そして、次の世代に1つ
でも多くのプラスアルファを付
加して伝えていくのが私たちの
仕事。『安全』について、少し
でも何かできないか、伝えるこ
とができないか」との思いは日
増しに強くなっている。

現在は、メトロの事業を離れ、
インドの新幹線プロジェクトに
参加している。「日本の技術を
すべて使った新幹線をきちんと

質の高いインフラの代表事例

JICA事業の軌跡と成果を読み物としてまとめた
「プロジェクト・ヒストリー」シリーズ。人口13億人を
抱え、急速な経済成長を遂げるインド。日本のODAで
整備された同国初の地下鉄「デリーメトロ」は、都市部
と郊外を結ぶ新たな高速輸送システムで、1日に222
万人が利用するなど、市民の重要な足として親しまれて
いる。本書は「質の高いインフラ」の代表的事例として
知られるインドの地下鉄整備を取り上げ、現場を指揮し
たインド
初の女性
土木技術
者の奮闘
を紹介し
ている。

マダム、これが俺たちのメトロだ！
インドで地下鉄整備に挑む女性土木技術者の奮闘記

阿部 玲子
Rinko Abe

佐伯印刷出版事業部

1,500円＋税
土木技術者の奮闘を
紹介している。

つくり上げることが、エンジ
ニアとしてのわれわれの一番大き
な目標」と、プロジェクトを見
据える。自身にとって「経験工
学と言われる技術を、次の世代
に伝えることもこれからの役
割」とし、「どのように伝えて
いくかはこれから考えていきたく
い」と語る。

「カレーは百薬の長!?!」「映
画熱」「女性ならではの安全確
保」「インドのお土産」「イン
ドのお年玉」…。本書は、「シ
ョート・ストーリー」と題した
自身の経験にもとづく37編の「
インドガイド」のコラムも興味
深い。「本当は、これが書きた
かったんです」と笑う。

「マダム、これが俺たちの
メトロだ！」
インドで地下鉄整備に挑む
女性土木技術者の奮闘記

著者と1時間